

デジタル教科書の特性を生かした 新たな社会科の授業開発

対象

教員（主に社会科）
教育学研究者
教員を目指す学生

～千葉大学・広島大学・愛媛大学・お茶の水女子大学・帝国書院によるデジタル教科書共同実証研究の取組から～

2026. **3.22** 日

09:30～12:00（開場 09:00）

会場

成蹊小学校 けやきホール

各線吉祥寺駅より徒歩15分

参加費

300円

要事前申込、定員に達し次第受付終了



阪上 弘彬
千葉大学准教授



池尻 良平
広島大学准教授



井上 昌善
愛媛大学准教授

地理的分野

各分野
提案内容

第3部 第3章 第2節 「中国・四国地方」

社会科シンキングツール"まとめも"を使って
地誌単元を地図でまとめます！

- ・ 授業者：渡邊 智紀（お茶の水女子大学附属中学校教諭）
- ・ 指導助言：阪上 弘彬（千葉大学准教授）

歴史的分野

第3章 第2節 「4. 琉球とアイヌ民族がつなく交易」

タイムトラベル⑤「鎌倉時代を眺めてみよう」

学習要素連携"学びコネクト"や"タイムトラベル"を使って
各時代のつながりを考察します！

- ・ 授業者：久賀 隆之・原田 歩（広島大学附属中学校・高等学校教諭）
- ・ 指導助言：池尻 良平（広島大学准教授）

公民的分野

第3部 経済 第1章 「経済活動と私たち」

パン屋さん経営シミュレーション"ぱんSim"を使って
経済単元を主体的にまとめます！

- ・ 授業者：高橋 祐貴（愛媛大学教育学部附属中学校教諭）
- ・ 指導助言：井上 昌善（愛媛大学准教授）

指導講評

川崎 誠司（東京学芸大学教授）

開催に
あたって

学習者用デジタル教科書が2030年には「教科書」として使われる見通しです。

帝国書院では社会科の教科書出版社として、学校現場ファーストの紙とデジタルを融合させた魅力的なハイブリッド教科書を企画構想したいと考えております。

しかし、社会科では英語や数学、国語に比べて"学習者用デジタル教科書を効果的に活用した授業実践"の蓄積が絶対的に不足しているのが現実です。

今回、同じ課題意識をもった若手の大学研究者や授業者の先生方と意気投合し、デジタル教科書共同実証研究チームとして"社会科の新たな授業開発"を目指す実証研究を開始しました。

今回のシンポジウムでは地理・歴史・公民の各分野で従前までの教科書内容の良さを活かしながら、デジタル教科書の特性を全面に出したオリジナリティ溢れる単元構想と授業開発にチャレンジしています。

さらに、今後、注目が集まる「学習ログデータの利活用」についても社会科に特化した形でご提案します。

是非、社会科の"新たな授業開発の挑戦"を現場でご体感いただけると幸いです。

申込
方法

開催概要：<https://peatix.com/event/4740293>

お問い合わせ先：株式会社帝国書院 media1@teikokushoin.co.jp

